

## 《目指す学校像》

「言葉と学びを大切にし、自ら伸びる力・協働する力を育成する学校」

校長 内藤 みゆき

新学習指導要領の完全実施の年、そして東京オリンピック・パラリンピック開催の年であったはずの今年度ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応で、すべてが計画変更を余儀なくされ、想定外の事態となりました。

学校は今「新しい生活様式」の確立と教育活動をどのように両立させ、学びを充実させていくか、極めて難しい課題を突き付けられています。しかし、長い休校期間を経て、皆で学び合うことのできる当たり前の学校生活が、如何に掛け替えのないものであるかを改めて痛感させられました。

大切な学びの場を守り、工夫を重ねながら、子どもたちに育成すべき資質・能力をしっかりと見定めて「深い学び」を実現させるべく、教職員一同、尽力してまいります。

## 《育成すべき資質・能力》

- 生きて働く「知識・技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

理解や思考の基盤であり、他者との交流に必要不可欠な「言葉」と、日々の深い「学び」を大切にする中で、児童の学びに向かう力と多様性を認め合う豊かな人間性を育てていきたいと考えます。具体的には、各教科において「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善に取り組み、学ぶことの楽しさや、他者と交流することで考えが広がり深まることを実感できる学習を目指します。

これらの取組を通して、本校の教育目標である

「㊦深く考える子・㊧自他を愛する子・㊨自ら鍛える子」

を育てていきます。

今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。